

議 題 2

報道機関 各位

記者発表資料

平成21年4月15日(水)

問い合わせ先：交通企画課

担当：島村、金内

電話：829 1054

内線：2176

広告付きバス停上屋の実証実験が行われます

市民に身近な公共交通であるバスの利用促進を図るため、さいたま市内で広告付きバス停上屋の設置に関する実証実験が行われます。

1 目的

バス停上屋に広告板を添加することにより、広告事業者が広告収入によって上屋の製造、設置、維持管理を行うことから、バス事業者や自治体は自らの費用を負担することなく公共輸送のインフラである上屋整備を推進することができます。

こうした広告付き上屋を市内に整備していくため、市内数箇所にモデル上屋を設置し、その効果を検証するものです。

2 事業内容

市内路線バス事業者のバス停に「広告付きバス停上屋」を設置し、以下の効果を検証いたします。

- (1) 快適なバス待ち環境の整備
- (2) 高いデザイン性による都市イメージの向上
- (3) 夜間照明による防犯効果

3 実験期間

平成21年5月から6ヶ月間

4 実験開始までの経緯

(1) 埼玉県バス協会の調整

市内バス事業者(国際興業、東武バスウエスト、西武バス)の意向を受け、埼玉県バス協会の乗合部会が「広告付きバス停上屋導入検討担当者会議」を設置し、事業者間の意向を調整してきました。

(平成20年10月、広告付きバス停上屋の導入に関する企画書を本市に提出)

(2) 本市の関係各課の調整

本市は、庁内に「広告付きバス停上屋導入検討会議」を設置し、市内設置に向け、占用許可、建築許可、屋外広告物許可に関する対応を検討してきました。

(3) モデル上屋の設置

本市及び県バス協会は、以下の設置条件のもとで市内の数箇所にモデル上屋を設置（実証実験）し、市民やバス利用者等の反応等を検証した後に、市内全体に整備を進めることにしました。

設置条件

各バス事業者は自ら広告を扱うか、先進市で実績のある広告代理店（エムシードゥコー社又はクリアチャンネル・ジャパン社）のいずれかと契約すること。

上屋の形状、材質、デザインは統一すること。

（色：シルバー系、材質：アルミ、屋根：かまぼこ型、柱：角柱など）

歩道の有効幅員が確保できる場合は「直角型」、確保できない場合は「並行型」を設置すること。

広告内容は埼玉県バス協会が「広告審査委員会」を設置し、自主審査すること。

実験期間は6ヶ月とすること。

県バス協会及び広告事業者は、モデル上屋設置後に速やかにアンケートを実施し、分析結果を市に報告すること。

5 今後の予定

実証実験において、モデル上屋の効果が認められた場合は、バス事業者及び広告事業者で市域全体の整備計画を策定することとなります。

(参考)

広告付きバス停モデル上屋の設置予定箇所

	バス事業者	広告事業者	バス停名	方面	タイプ	進捗状況
1	東武バスウエスト(株)	MCドゥコー	本郷住宅	北行き	直角	3月25日 完成
2			東宮原駅前	西行き	並行	
3			中道公園入口	東行き	並行	
4	国際興業(株)	MCドゥコー	東口通り(浦和駅)	東行き	並行	5月中旬に完 成予定
5			市役所前	南行き	並行	
6	西武バス(株)	自社	大宮駅西口	西行き	並行	5月中旬に完 成予定
7				降り場	並行	



直角型タイプ(本郷住宅)



並行型タイプ(中道公園入口)